



株式会社

三共製作所

<https://www.sankyo-seisakusho.co.jp/>

- 本社 東京都北区田端新町3-37-3 〒114-8538
Phone: 03-3800-3305 Fax: 03-3800-3378
Email: general@sankyo-seisakusho.co.jp
- 東京営業所 東京都北区田端新町3-37-3 〒114-8538
Phone: 03-3800-3330 Fax: 03-3893-7065
Email: tky-sales@sankyo-seisakusho.co.jp
- 名古屋営業所 愛知県名古屋市昭和区福江1-3-3 〒466-0059
Phone: 052-857-0577 Fax: 052-883-5188
Email: ngy-sales@sankyo-seisakusho.co.jp
- 大阪営業所 大阪府東大阪市長田東1-1-10 〒577-0012
Phone: 06-6618-7000 Fax: 06-6618-7001
Email: osk-sales@sankyo-seisakusho.co.jp
- 静岡出張所 静岡県菊川市本所2290 〒439-0018
Phone: 0537-36-5715 Fax: 0537-36-2381
Email: ngy-sales@sankyo-seisakusho.co.jp

Sankyo Seisakusho Taiwan Sales Office
No.21, Ln.152, Jianxing Rd., Sanhe Vil., Daya Dist.,
Taichung City 42876, Taiwan (R.O.C.)
Phone: +886-(0)4-2359-4048 Fax: +886-(0)4-2359-4720
Email: tw-sales@rollerdrive.com

Group Companies

Sankyo Shizuoka Seisakusho Co.
2290 Honjo, Kikugawa, Shizuoka, Japan 439-0018
Phone: +81-(0)537-36-2231 Fax: +81-(0)537-36-2785
Email: ngy-sales@sankyo-seisakusho.co.jp

Sankyo America Inc.
10655 State Route 47 Sidney, Ohio, 45365 U.S.A.
Phone: +1-(0)937-498-4901 Fax: +1-(0)937-498-9403
Email: sales@sankyoautomation.com

Sankyo Korea Co., Ltd.
1449-48 Seobu-ro, Gwonseon-gu, Suwon-si, Gyeonggi-do, 16643 Korea
Phone: +82-(0)31-895-5991 Fax: +82-(0)31-895-6607
Email: kr-sales@rollerdrive.com

Sankyo China Trading Co., Ltd.
[Shanghai Sales Office]
Room101, Unit 2, No.159 Tianzhou Road, Shanghai 200233, China
Phone: +86-(0)21-5445-2813 Fax: +86-(0)21-5445-2340
Email: sales@sankyochina-trading.com

[Shenzhen Sales Office]
Room 604, Building A3B, China Merchants Intellectual Town,
Guanguang Road, Fenghang Subdistrict, Guangming District, Shenzhen
Phone: +86-(0)755-8230-0270 Fax: +86-(0)755-8236-4605

[Tianjin Sales Office]
Room 1905, Pengzhanfeiwo Building A, Crossing Yale Road Yaolin Road,
Xiqing District, Tianjin 300380 China
Phone: +86-(0)22-2312-1005 Fax: +86-(0)22-2312-1007

[Wuhan Sales Office]
Room 2301, Taihe Square, No.134 Wusheng Road, Wuhan, Hubei Province China
Phone: +86-(0)27-8568-5818 Fax: +86-(0)27-8568-2818

Hangzhou Sankyo Machinery Co., Ltd.
No.2518 Jiang Dong 2 Road, Hangzhou Jiang Dong Industrial Park,
Xiaoshan Zone, Hangzhou, Zhejiang, China
Phone: +86-(0)571-8283-3311 Fax: +86-(0)571-8283-1133

Rodax Vietnam Co., Ltd.
Plot No. M1, Thang Long Industrial Park li
Di Su, My Hao, Hung Yen, Viet Nam
Phone: +84-(0)221-3-589701 Fax: +84-(0)221-3-589708

Sankyo Works (Thailand) Co., Ltd.
9/31 Moo 5, Phaholyotin Road, Klongnueng,
Klong Luang, Patumthani 12120 Thailand
Phone: +66-(0)2-516-5355
Email: sales@sankyo-works.co.th
India Branch (Service)
Phone: +91 984-008-4341

Representative office

Sankyo Seisakusho Co. - Representative Office Europe
Flughafenstraße 59, 70629 Stuttgart Germany
Phone: +49 (711) 490 52 -170
Email: o.heinlin@sankyoeurope.com

自動化技術・サービスメーカー



SANKYO
SEISAKUSHO CO.

RollerDrive

Sandex

Variax

LinerUnit

MachineTools

System Integration

CORPORATE PROFILE

カムテクノロジーを基盤に最高のモノづくりを展開し、100年企業に向けて

2021(令和3)年5月、株式会社三共製作所はおかげさまで設立70周年を迎えました。創立時より当社を支えてくださったお取引先をはじめとする皆様に、心より感謝を申し上げます。

部品加工と組立の受託からスタートした当社にとって大きな転機となったのが、1973(昭和48)年、自社製品の開発とメーカーとしての自立を志した創業者・小川良平の主導によりローラギヤカム機構によるインデックスドライブの日本初の開発と製品化に成功したことでした。以来、カム技術のたゆまぬ研鑽のもと高精度・高速・高効率な「動き」を実現するさまざまな製品を開発。今日では「カムテクノロジーの三共」としての知名度も高まり、製品を通じて自動車・食品・半導体など多様な産業の製造現場を支えています。

製品開発に注力する一方で、生産・サービス体制の充実や海外への進出も積極的に展開。現在は、4工場を擁し研究開発から製造までを担う株式会社三共静岡製作所を筆頭に、アメリカ・中国・韓国・ベトナムにも生産拠点を設け、製品供給やメンテナンスなどの各種サービスもグローバルにご提供しています。

当社は創業から一貫して顧客ファーストの姿勢を重視し、双方向のコミュニケーションでニーズを深く理解してそれにお応えする製品を開発しお届けしてまいりました。

今後はこれまで以上にお客様のビジネスに貢献するべく技術革新を進めるとともに、技術視点に基づくヒアリングやご提案を強化して、高度な自動化システムと課題を解決するソリューション、保守管理も含めた総合的なサービスをご提供し、お客様との価値共創を実現してまいります。同時に、SDGsで設定されている「産業と技術革新の基盤をつくろう」「つくる責任、つかう責任」といった目標に積極的に向き合い地球環境や社会の持続可能性に貢献するとともに、人材育成にも取り組み、より高い価値を創造するために謙虚に学び果敢に挑戦する社内風土の醸成を図ります。

目指すのは、昭和・平成・令和そしてさらにその先においても世界の製造現場をモーションコントロールで支える「100年企業」としての成長です。当社はこれからもカムテクノロジーを基盤に最高のモノづくりにこだわり、お客様の信頼とご期待に着実にお応えしてまいります。



代表取締役会長兼社長
小川 凌海

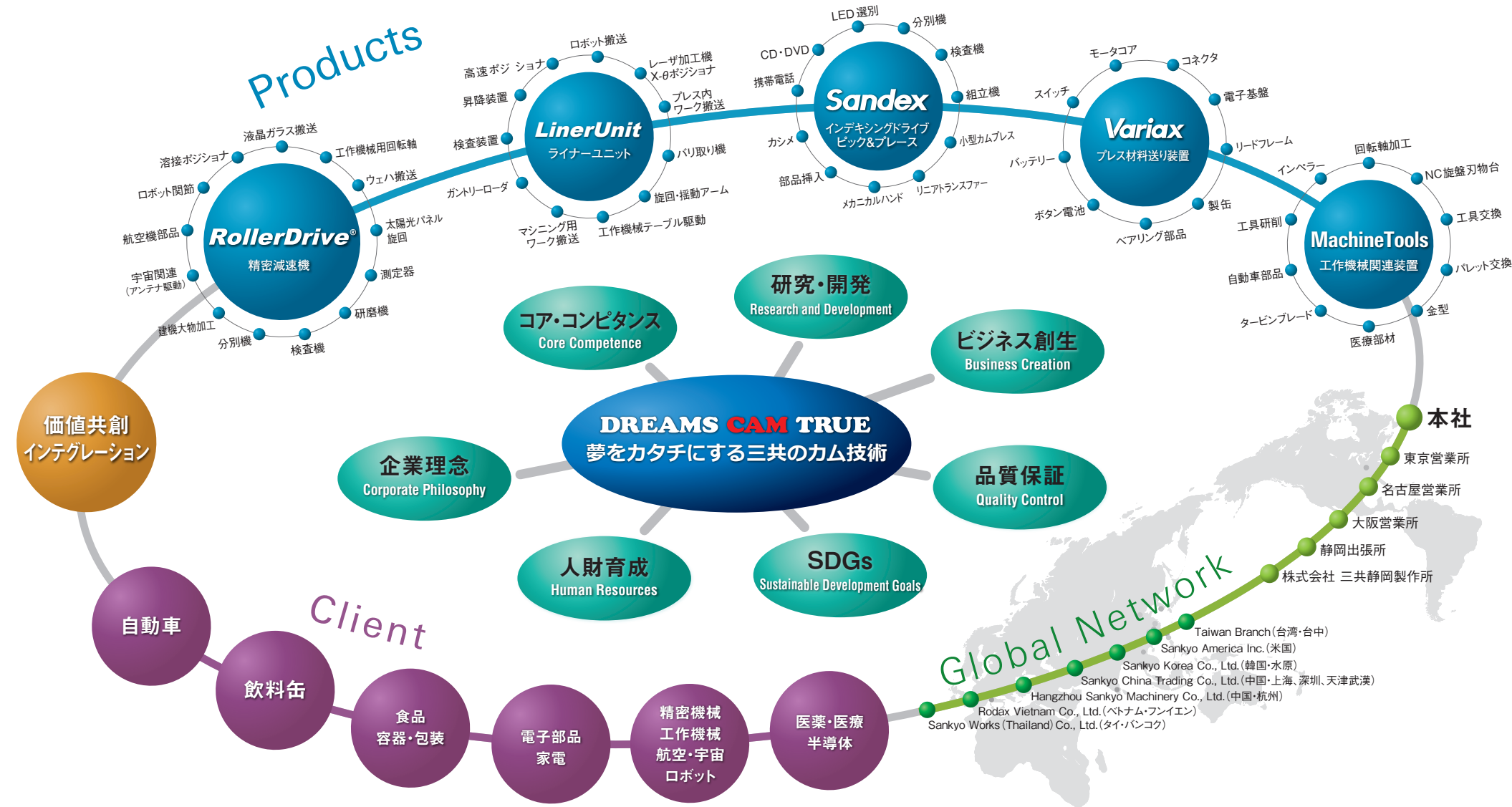
お客様とともに、価値共創していく企業グループを目指して

1970年(昭和45年)に開発が始まったローラギヤカムは、いまや三共製作所のカムテクノロジーソリューションを代表する製品となりました。その技術の深化により誕生したローラドライブ(精密減速機)やサンデックス(カムシステム)、バリアックス(プレス材料送り装置)、マシンツール(工作機械関連装置)は、現在、それぞれが当社のコアプロダクトとして確立しています。

これらのコアプロダクトはお客様との双方向コミュニケーションから生み出され、自動車・食品・弱電関連機器・半導体・精密機械・工作機械など、多様な産業の生産システムや生産ラインに組み込まれてきました。

三共製作所は、回す・停める・移す・送る・合わせるといった機能を創造供給するグローバルサプライヤーとして、国内はもとより海外においても最適調達が行えるよう、お客様の生産拠点に密着したサービス体制をさらに構築していきます。

また、モノづくりへの飽くなき探求心を原動力に、今後もお客様とのコミュニケーションを大切にしながら、求められる価値の創造に努めてまいります。



CASE STUDY

自動車産業



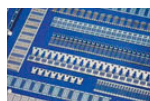
- モータコア、スタンピング

Variaxによる
高速送り、段取り替えの時間短縮



- 溶接機用ボジショナ

RollerDriveによる
高剛性、高速・高精度位置決めを実現



- 大型治具の高精度位置決め

高剛性Sandexによる
外部位置決め機構の不要化と高寿命化



- コネクタ、リードフレームのスタンピング

Variaxによる
3,000spm以上の高速運転

容器・包装関連



- 充填、袋詰め、外観検査用ターンテーブル
- 充填・シール用ピッチコンベア

Sandexのシンプル制御により
安定した搬送位置決めと高寿命を実現

食品産業

- 菓子製造の自動焼成機の間欠駆動

Sandex採用による
簡単制御の実現と長寿命化

電子部品関連



- LED搬送・分別

Sandexによる
振動の少ない高速位置決め



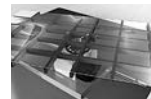
- 外観・特性検査

Sandexを採用した
超高速位置決め(設定時間の極小化)



- 組立・マーキング

Sandexによる
振動の少ない高速位置決め



- 液晶パネル、PC、タブレットの製造

RollerDrive、Sandexによる
安定した高精度位置決め



- 液晶ガラス研削

RollerDriveによる 高速割出、高剛性
高精度加工

家電産業

- 飲料缶製造プロセス

Sandexにより、大イナーシャでも
振動のない安定した高速割出を実現

精密機械産業



- エンジン部品加工
- レンズ研削

RollerDrive駆動による
ゼロバックラッシュ位置決め、高剛性・高精度加工



- 工作機械旋回軸
- 多軸用テーブル
- 回転加工

RollerDriveによる
加工部品の高速割出、高精度加工



- タービンブレードなどの航空機部品加工

RollerDrive CNCによる
ゼロバックラッシュ高剛性加工



- バラボラアンテナ旋回

RollerDriveによる
ゼロバックラッシュ連続回転正確な位置決め



- ロボット搬送

LinerUnitによる
高速・ロングストローク搬送

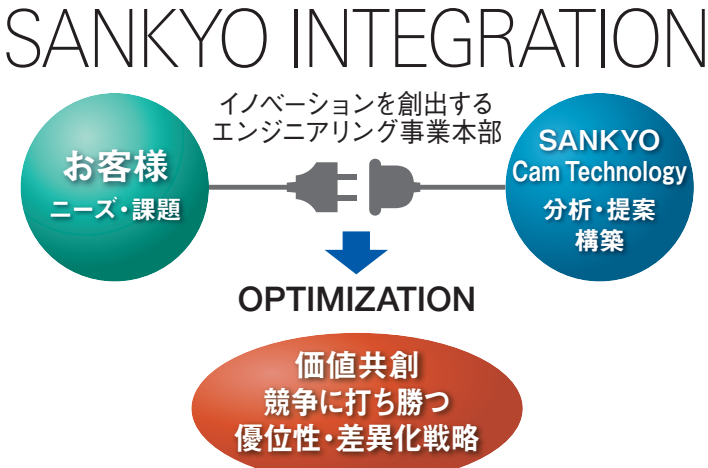
価値共創



エンジニアリング事業本部

三共製作所は「動きを科学する」会社です。「科学する」とは、徹底的に客観性や論理に基づいた設計・開発を行うということ。原因から結果に至る因果関係を精密に分析し、得られたものをモノづくりに反映しています。

これまで自動化技術・サービスメーカーとして幅広い自動化機器を各分野の製造現場にお届けしてきた当社は、顧客ニーズにより深くより本質的に応えるため、「エンジニアリング事業本部」を新設。機器ユニットだけでなくシステムも含めた総合的なご提案を行い、お客様により大きな価値をご提供します。仕事の質を絶えず向上させ、着実にお客様に貢献する。日本のモノづくりの精神は、三共製作所の社員一人ひとりの中に息づいています。



最先端と高度な自動化システムでお客様に提案する SANKYOインテグレーション技術

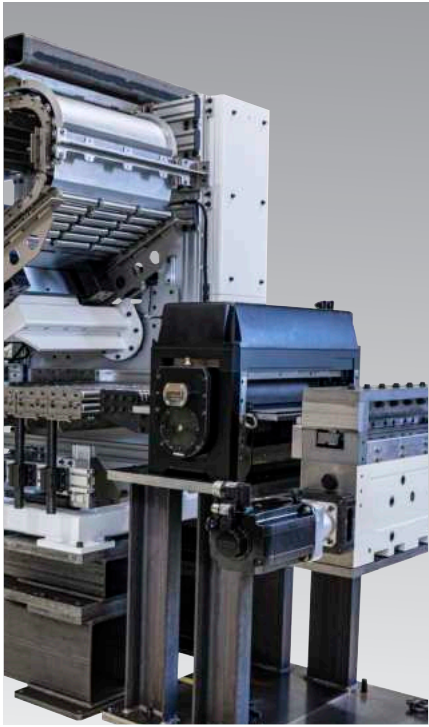
アンプル検液機



当社が開発したインデックス装置によるアンプル検査供給機構が世界のアンプル検査機に採用されています。1980年アンプル検査機AIM開発以来、永年培ってきたインデックス技術と最新のソリューションで、アンプル、バイアル瓶、シリンジ等の容器形状に適応した検査搬送機構をご提案します。GMP遵守のモノづくりを行います。



世界最速 モータコア生産



EV車や産業用モータコア市場向けにプレスライン材料送り速度120m/minの高速化、高効率化を実現しました。

アンコイラからレベラ、プッシュプル送り装置、金型への材料自動通板、そして転積、スクラップカッタと、全てに最高を求めたモータコアスタンピングラインです。



湿性錠剤打錠機



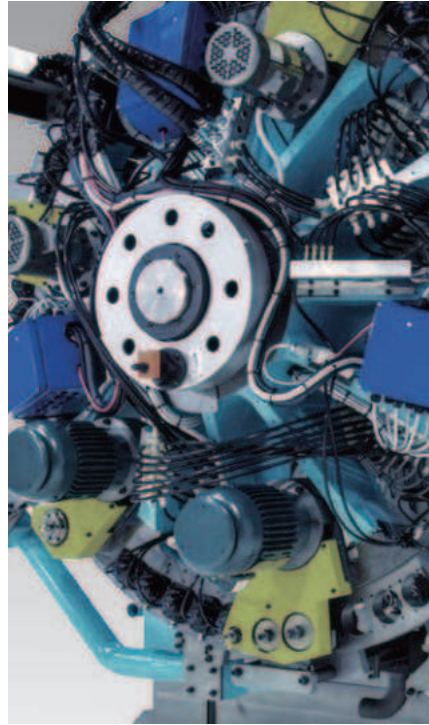
成形難易度が高い湿性錠剤。薬剤供給から打錠、検査、仕分け、乾燥まで精度が高く高効率生産を実現します。

湿性錠剤打錠機は薬剤だけでなく電池、錠薬、フェライト、セラミックス、化成品、工業薬品、粉末等の産業分野での応用も可能です。

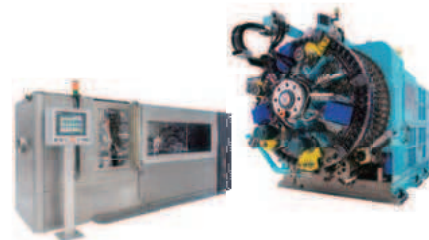


SANKYO INTEGRATION TECHNOLOGY

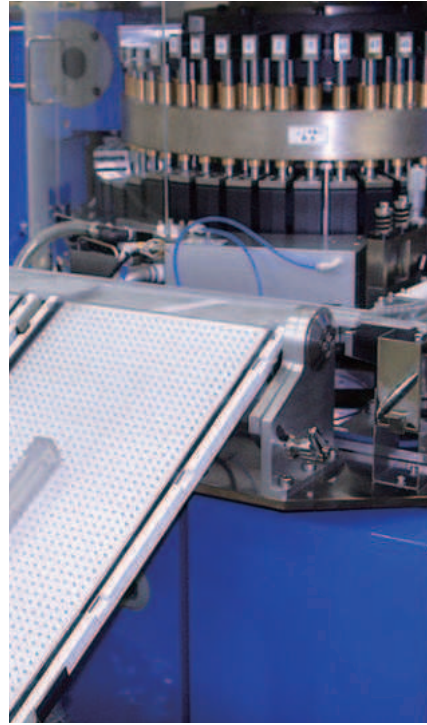
ボトル缶製造



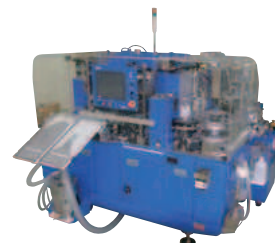
アルミ缶製造ラインのシステムインテグレータとして、お客様としっかり向き合い、多様なご要望に的確にお応えします。特に、アルミ缶にイノベーションをもたらしたアルミボトル製造装置の技術は世界でもトップレベルにあります。アルミコイル材の送りから、カップリング、ボディフォーミング、ボトム缶フォーミング、検査、塗装まで一貫した生産システムをお客様にご提案いたします。



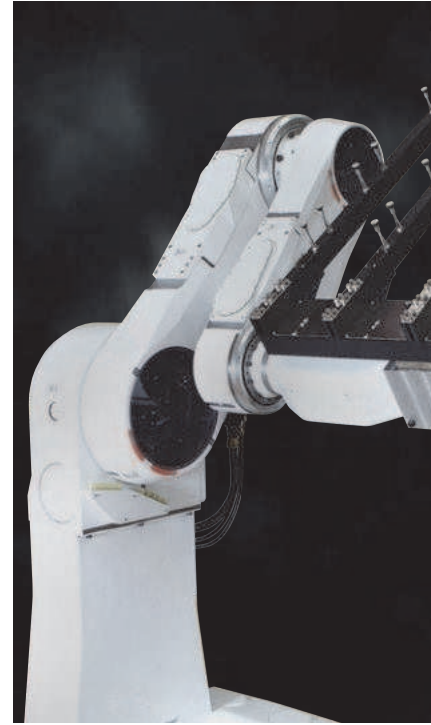
電池製造



三共カム技術を駆使したコイン型民生用小型電池組立機。信頼と実績の三共カムテクノロジーをベースに電池の生産性向上、品質確保を考慮した電池組立機など幅広い分野に適応した自動組み立て製造設備をご提案します。



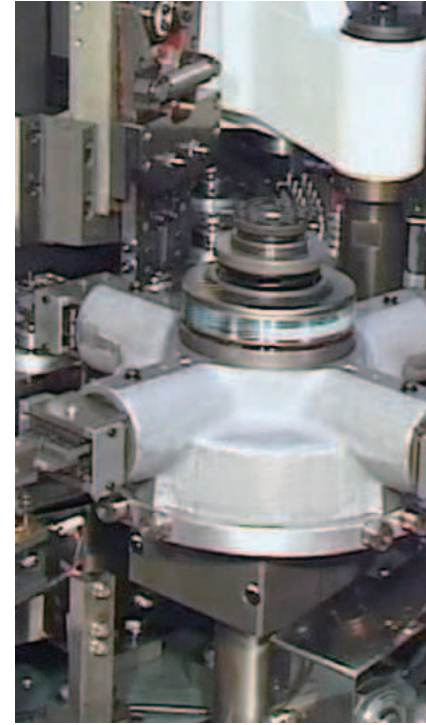
液晶パネル搬送



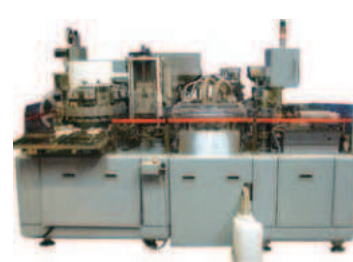
大型液晶パネルの高速搬送をローラードライブ技術と最適モーションコントロール技術により実現します。液晶パネルの受ける風圧等も考慮し最適な「動き」を科学します。



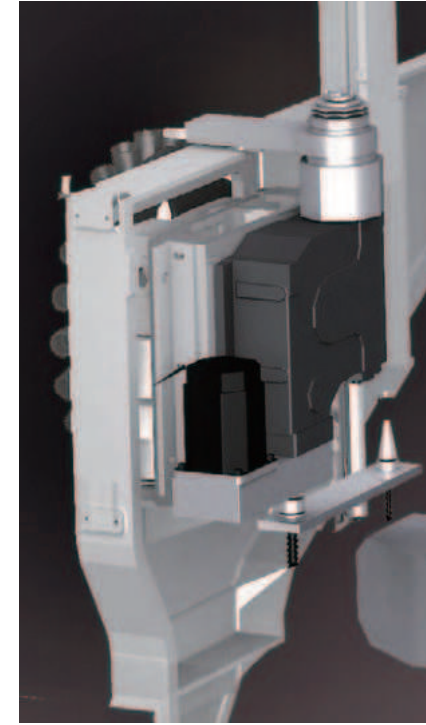
コンデンサ製造



信頼の三共カム技術による優れた高速安定性を誇るアルミ電解コンデンサ自動組立機、及び二次加工機。コンデンサ素子の含浸からゴム挿入、ケース組み込み、封口、検査、スリーブ掛けまでの全工程を三共のカム技術で実現します。



工作機械ユニット



三共カムテクノロジーのベースとなるグロバйдルカム加工専用機の自社開発、及び永年の使用実績から派生した各種工作機械向けモジュラーユニットは産業界に大きく貢献しています。



自動機・ベースマシン



生産現場の自動化(割り出し、直進等の位置決め、加工、搬送、塗布、検査)など、汎ゆる工程で使用するベースマシンを取り揃えています。



100年企業に向けての確かなモノづくり 「安心を信頼と技術で支える 高精度の追求」

使い手の気持ちを考え抜き、機能性や利便性にこだわる。日本のモノづくりは、伝統的にこうした精神を拠り所としてきました。それを象徴する存在が「職人」であり、つくり上げるモノの最適化を実現する者が「匠」と呼ばれました。そこにあるのは自身の仕事を天職と捉えて誇りを抱き、人や社会に役立つため、担う責務の本質を追求する姿勢です。こうした日本ならではのモノづくりの精神は、科学技術発展の原動力ともなりました。

これまで当社は、カムをコア技術とした自動化機器メーカーとしてお客様のニーズにお応えする製品を幅広く開発し、お届けしてきました。現在は新設したエンジニアリング事業本部で、自動化機器ばかりではなくお客様により高い価値を提供する利用技術の開発も展開。これからも製造現場で信頼される「100年企業」に向け、システムや製品の企画・開発・製造・保守管理まで一貫した、総合的サービスのご提供を目指します。

三共製作所は「動きを科学する」を基盤に、より速く高精度の機械、そしてより生産性の高い総合的なソリューションをご提案し、自動化や省力化に対するご要望に的確にお応えして、お客様との価値共創を実現することをお約束します。



大型三次元測定機 ZEISS ACCURA® 20/42/15



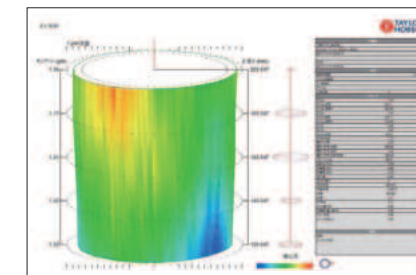
ナガセインテグレックス平面研削盤
ORIGIN-4025XS-CNC



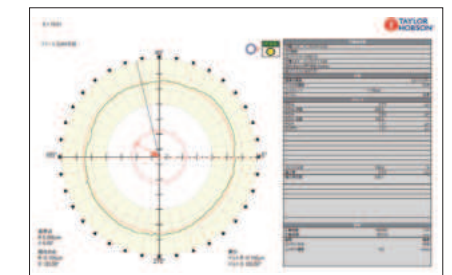
三次元表面形状測定
Taylor Hobson CCIMP-HS非接触3D光学式プロファイラ

各種精密測定と要素技術

円筒度形状分析結果

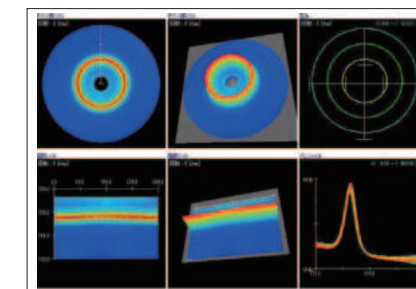


真円度形状分析結果



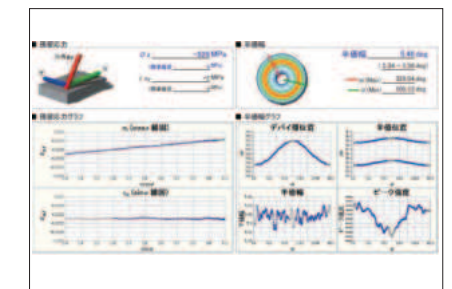
大型真円度測定機
TR1500(テラーホブソン製)

残留オーステナイト計測



鋼の焼き入れ硬度や経年変化に関する残留オーステナイト量を計測します。

残留応力計測



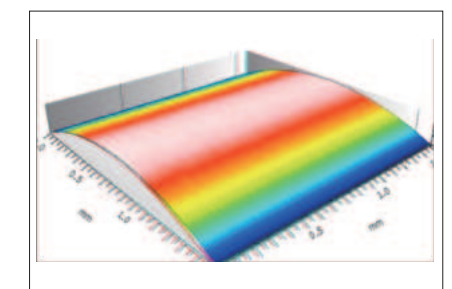
軸受の疲労寿命に関係する残留応力をX線残留応力測定器で計測します。

精密部品の超仕上げ加工



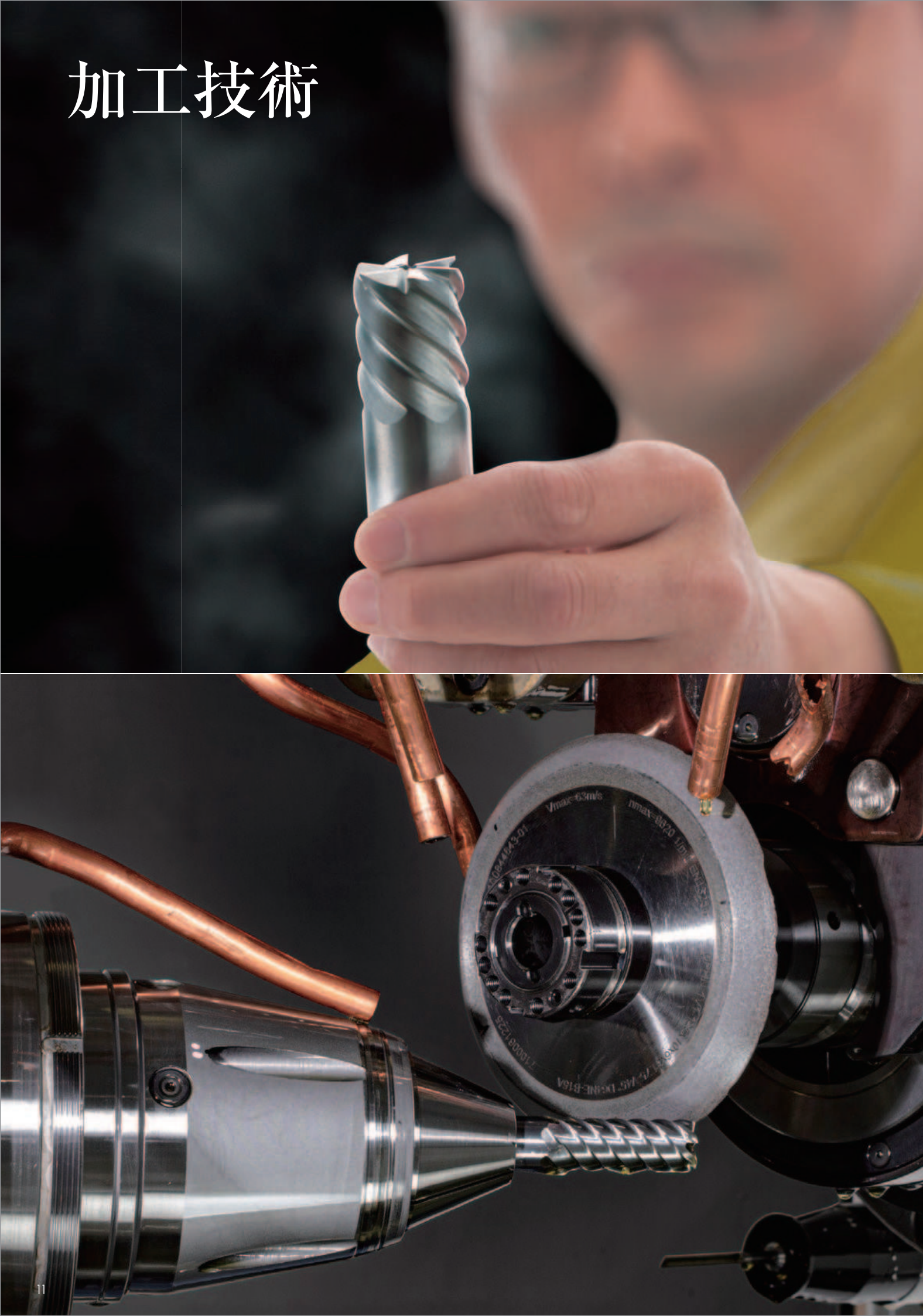
加工面の超仕上げにより表面圧縮応力の向上、耐磨耗性の向上が見込まれます。

三次元表面粗さ解析



曲面の粗さと形状を非接触で評価解析できます。
CCIMP-HS:非接触3D光学式プロファイラ
(テラーホブソン製)

加工技術

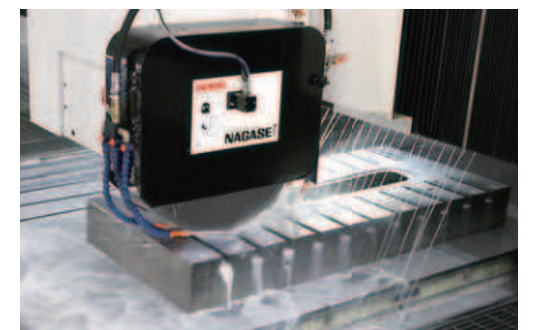
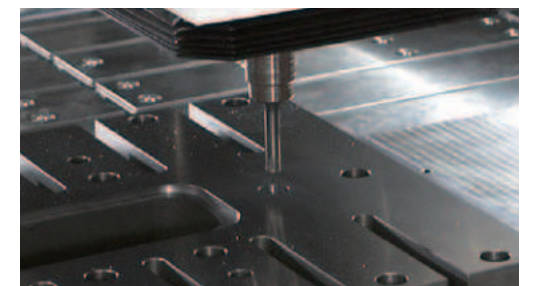


世界最高のモノづくりへ

細部にまで行き届く品質の高さで、世界から評価されている日本のモノづくり。「生産現場を支えている」という誇りを基盤に、三共製作所は日本発の自動化技術・サービスメーカーとしてお客様に満足していただける高品質・高性能製品をお届けするため、小さなことも妥協を許さぬモノづくりに専心しています。

先進的な生産技術と徹底した品質管理のもと、開発・設計から材料調達、加工、熱処理、組立、検査まで自社一貫体制で展開。特に加工については世界トップレベルの精度を実現するため、自社開発した製品ユニットを工作機械に組み込んでいます。金型や半導体、産業機械をはじめとする様々な分野の大物加工でもミクロン単位の精度を実現します。加工において仕事をするのは「機械」ではなく「工具」。

三共製作所としての品質を確保し続けるための工具も自社で作る、そうしたこだわりが当社製品の、ひいては日本のモノづくりの信頼性を高めると考えています。



PROCESSING TECHNOLOGY

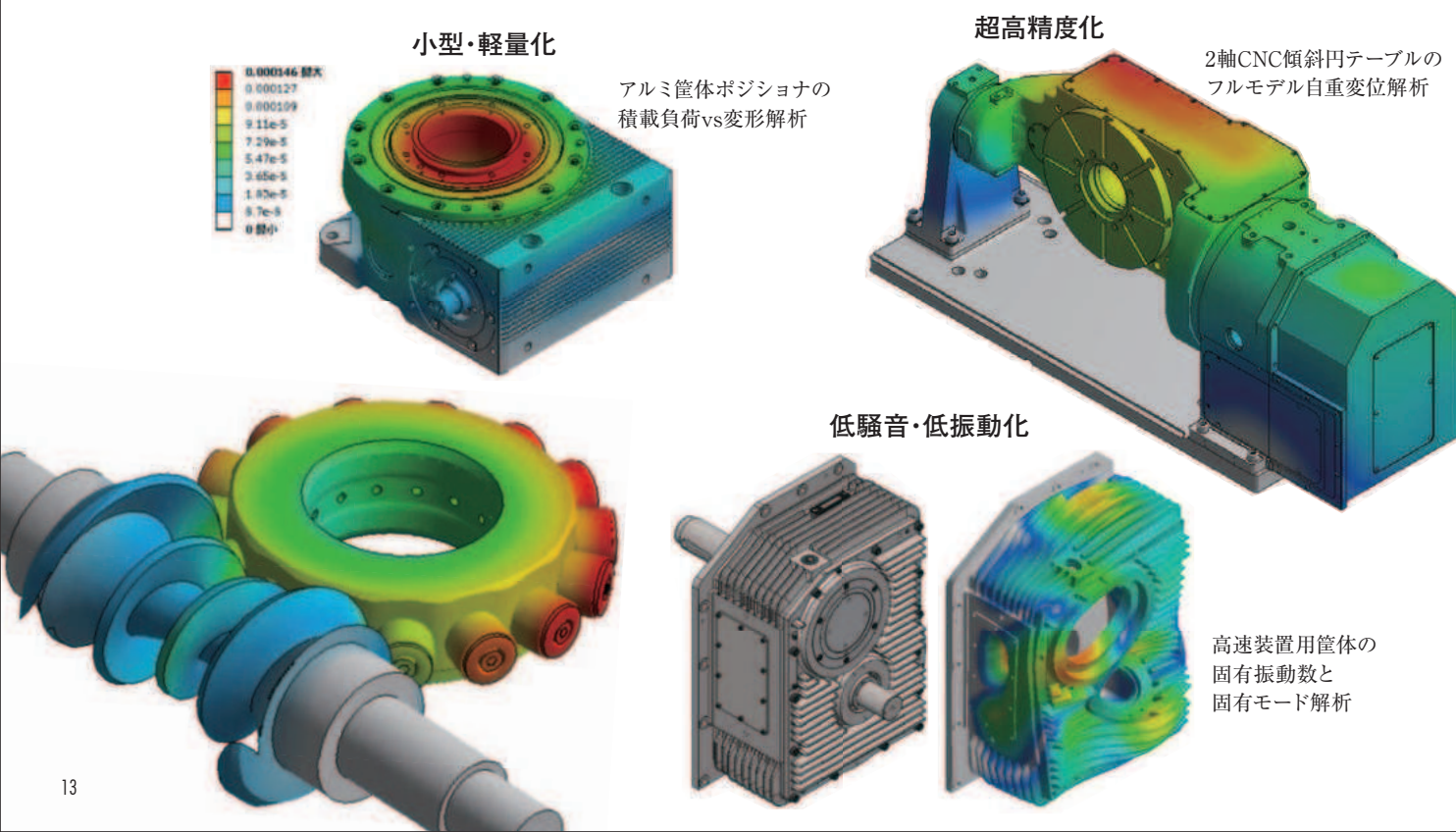
研究・開発



三共製作所は「カム」の研究とその成果を活かした製品開発を通じて未来に挑戦し、新たな事業創成を目指します。

CAE 変位・応力解析

多様化するお客様の位置決め要求を果たすべく、装置全体の応力変位を有限要素法 (Finite Element Method : FEM) を用いて解析し、設計をサポート。理想的設計を追求し、最適化された製品が要求品質を実現します。



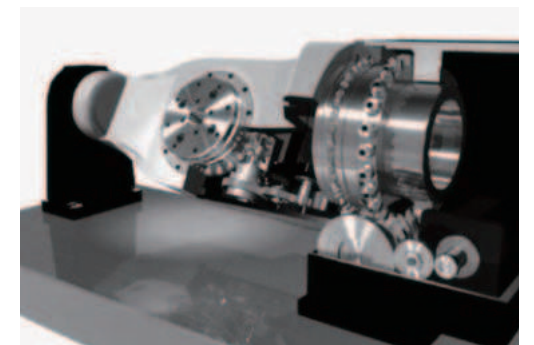
三共製作所は、位置決め、材料送り、マシンツールなど動きの制御技術とそれらを支える分析、解析、ソフトウェア技術など多くのノウハウを蓄積してきました。歴史とともに育まれた技術により市場の競争優位を確立し、価値ある製品を提供し続けています。価値創造の源泉である研究開発を絶やすことなく継続し、新たな時代に向けて研究開発に取り組んでいます。

要素技術研究

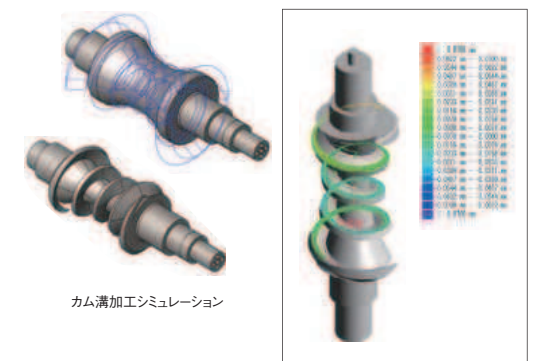
多種多様で複雑高度化するニーズや問題に応えるためには、製品を構成する要素技術の進化「新化・深化・単純化・標準化・複合化」が求められます。当社コア技術であるカム技術に磨きをかけるとともに、計測、制御、解析、トライボロジー、新型駆動機構といった周辺技術を幅広く研究しています。

理想的なカム輪郭設計と加工

ローラギヤカム機構は、速度・精度・剛性・耐久性に優れ、入出力軸1回転の全領域で「ゼロバックラッシュ」を実現する究極の高性能回転位置決めユニットです。この特性を最大限引き出すために、複雑な自由曲面を有するカム輪郭面の三次元形状設計理論構築と、ミクロンオーダ加工を具現化する手法の実現が必要不可欠です。このために独自のCAMシステムの開発運用と、実加工評価・改善に日々取り組んでいます。

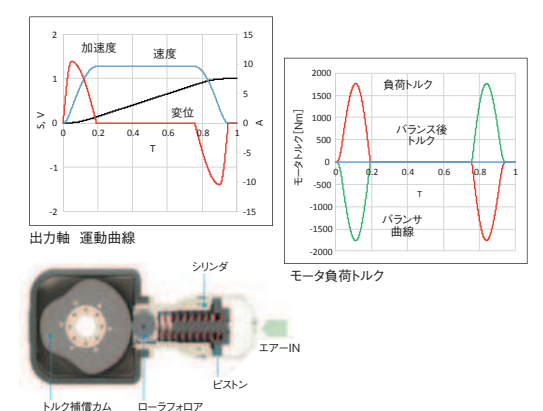


カムの3Dモデル化、計測



モーションコントロール研究開発と提案

高精度・高速・省エネなどの付加価値の高い運動を作り出すためには、システムや用途に適するモーションコントロールが欠くことのできないものです。当社は永年培ってきた運動特性(変位、速度、加速度、躍度)の解析技術と、近年発展が目覚ましいサーボ制御、センサ技術を応用し、最適なモーションコントロールを提供しています。



低フリクション化研究

世界共通の重要課題である温室効果ガスの削減に対して当社が貢献できることは装置ユニットの省エネ化です。装置の駆動ロスを低減するために最新のトライボロジーを取り入れた潤滑技術を研究し、製品へ反映しています。



自動車、医療、航空機産業等、多くのモノづくりに 貢献する三共製品

EV車のモータコア・航空部品・インペラ・液晶基板・アンブル検査機・製缶など先端のモノづくりから日常品まで、当社製品は自動車・航空・医療・食品産業の生産現場において、自動機械の中核を担う動きの主要コンポーネントとして活躍しています。急速に変化する市場環境の中、モノづくりの現場ではさらなる合理化やスピード化が求められています。

三共製作所は当社の強みであるカムテクノロジーとモーションコントロール技術で、高生産性・高精度・高品質に貢献し、お客様に付加 価値の高い製品を提供します。

回転系ポジションナ

RollerDrive



精度・剛性・耐久性に優れた構造のローラギヤカム機構を応用した、究極の回転系高性能位置決めユニットです。

高速・高精度位置決め、重荷重、高トルク駆動、加工品質向上のための高剛性化といった、それぞれの用途に特化した多様な製品バリエーションを取り揃えております。

機械の高精度位置決め、液晶ガラス基板の端面研磨装置、大型ガラス基板搬送ロボット、車載向け大型溶接機用ポジションナなど、幅広い用途で活躍しています。

高性能割出

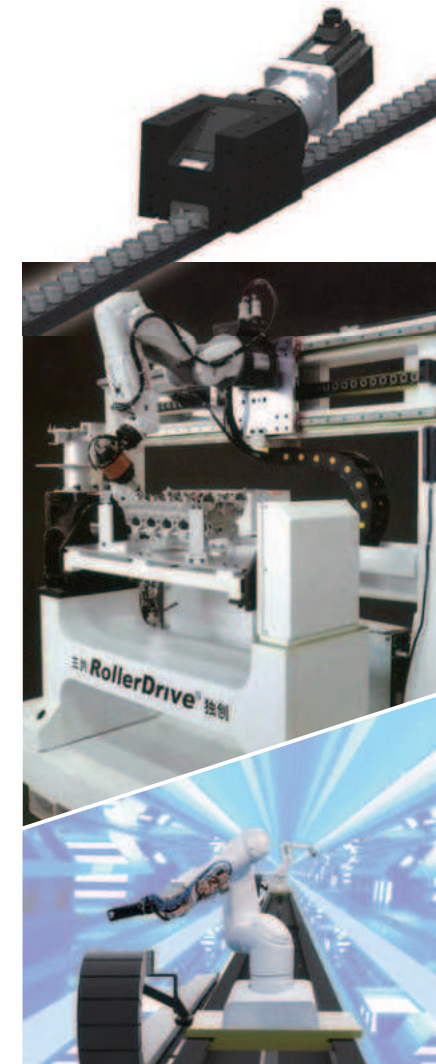
Sandex



ローラギヤカムとカムフォロアの組み合わせから生み出された、高速・高性能・高剛性の割り出し装置です。グロバイダルカムは、当社が日本で最初に開発に成功して以来、サンデックスの卓越した性能と信頼実績から、検査機・組立機・充填機など、高精度・高効率を求める生産設備の位置決めで使用され、高い評価を得ています。

直進駆動ポジションナ

LinerUnit



当社のカム技術から派生した、高速・ハイパワー直動駆動位置決め装置です。ロボット等の重量物搬送に有効です。重量物の高速・高精度、ロングストローク搬送のみならず、搬送物自体の動作制御や複数制御等のマルチ作業、設備の省スペース化も可能にします。

高速・高精度送り装置

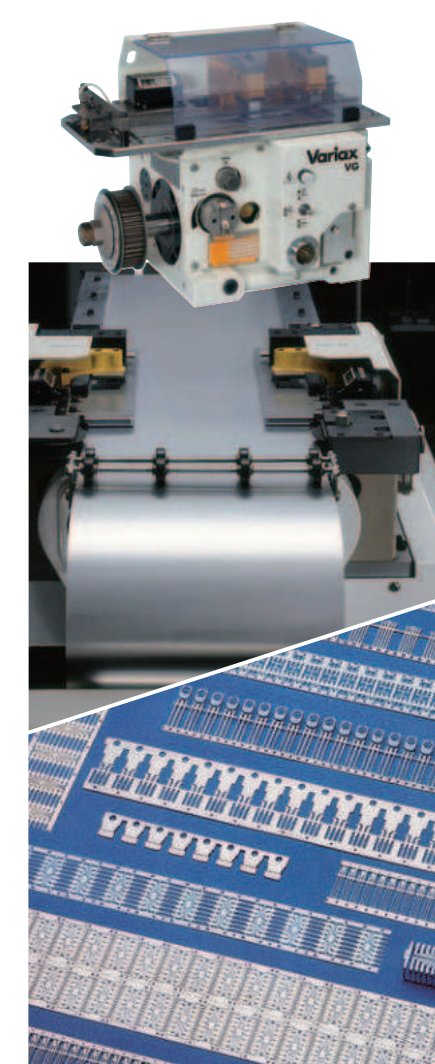
Variax OPUS



当社が得意とするカムテクノロジーをベースに、最新の駆動ノウハウを応用した高性能プレス用送り装置です。送り長さ・板厚・グリップ力などの調整を操作パネルより行えるなど、その高速性・高精度・高操作性により、電子部品はもとよりモータコアなどの生産性向上に大きく貢献しています。

高速グリップバフィード

Variax VG



Variax VGシリーズは、材料を掴んで送るグリップ方式の送り動作を4つのカム機構の組み合わせにより実現しています。一般的にロール回転で材料を送るロールフィード方式とは異なり、最大の摩擦力を利用することにより確実に材料を掴んで送ります。またロールフィード方式では困難とされる異形材や軟質材、狭ピッチや超高速送り、二次加工といった様々な諸条件に対応可能です。

精密楕円振動送りフィーダ

SANDEX FEEDER

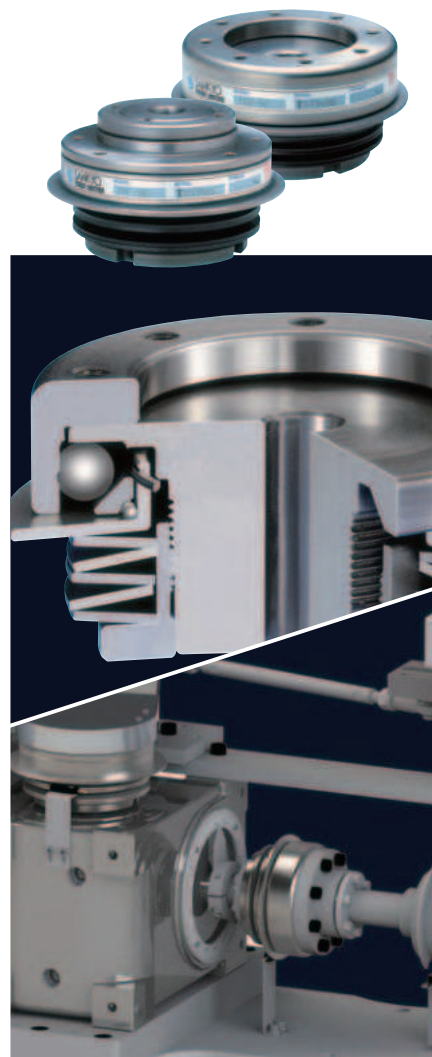


精密楕円振動送りサンデックスフィーダは搬送効率の高い楕円振動を全機種に採用しています。

振動はカムによって創出され、楕円振動の発生に必要な水平、垂直方向の振動をそれぞれ独立発生させることが可能です。カム機構最大の特徴である動き(振動)の自由度、高速駆動時の安定性、耐久性、精度、剛性等により、従来のパーツフィーダでは難易度が高い粉末の定量搬送や、重量物搬送にも効果を発揮します。

SANKYO PRODUCTS

過負荷保護装置 TORQUE LIMITERS



トルクリミッタは、当社独自のボール&ボールポケットとローラ&ローラポケットの機械式トルク遮断機構を採用しています。遮断トルクの精度が高くしかもトルク調整が容易にでき、装置の性能を損なうことなく過負荷から機械を保護します。各種自動機械の安全装置として、三共トルクリミッタは、優れた性能と信頼性で幅広い分野で高い評価を得ています。

高速パレット交換装置 APC



油圧機構を必要としないカム式高速パレットチェンジャー。重量パレットの昇降および180°旋回を全てカム機構で動作するため円滑な高速運転を実現します。しかもシンプルな1モータ駆動により、優れた運転性のもとより、高剛性、高耐久性を可能にしました。最大荷重4トン、毎分6.7回転が可能です。

マシンツール用高速工具交換装置 ATC



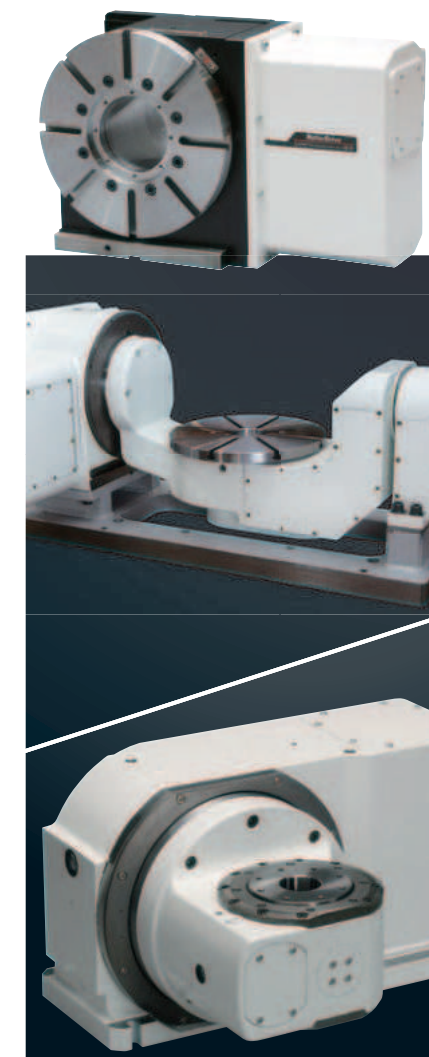
工作機械への豊富な納入実績を誇る高速ツール交換ユニット。独自のカム機構で加工時間の短縮と長寿命化を実現、生産性と耐久性の高いカム式ATCユニットです。メンテナンスフリーと扱いやすさで自動車関連部品など、数多くの分野で採用されています。

刃物台割出装置 EX



高性能カム式刃物台装置。
高強度のグロバイダルカムと高剛性特殊カムフォロア(特許)を組み合わせることで、必要とされる切削特性を全てクリア、モータ入力駆動だけで安定した保持トルク、高精度割出しを実現。
EXシリーズはカップリング方式に求められるクランプ動作に必要な油圧を不要とし、高速化や省エネ化に大きく貢献します。

工作機械用マシンツールユニット Machine Tools



マシンツール製品は、弊社永年の専用機開発及び使用実績から派生した商品であり、各工作機械会社様の高性能機に専用ユニットとして数多く採用されています。
高性能工作機能力をより高めるための付加軸機能として最適です。

お客様対応特注品 OEM



お客様のご要望に合わせ、各種カム機構のカスタマイズ提供や、総合的なご提案を行うことにより、お客様により大きな価値をご提供します。

良い製品は良い環境から、高品質を実現するモノづくり。

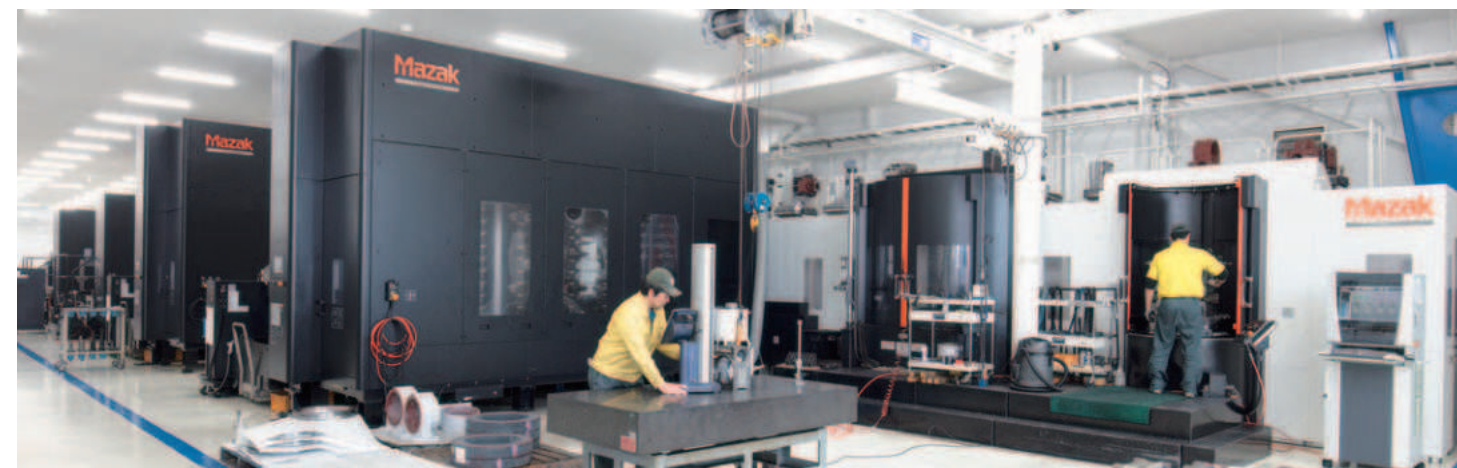


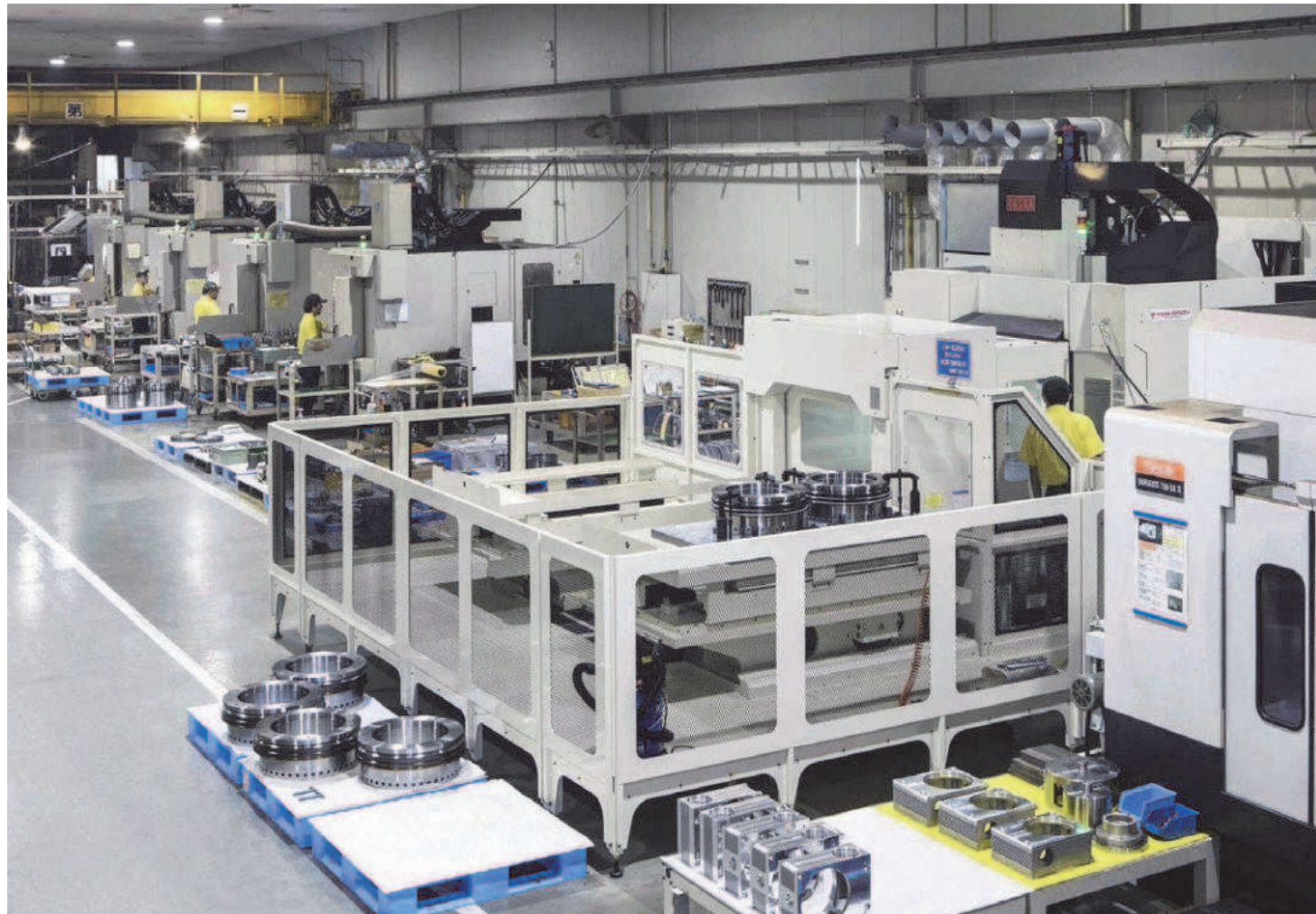
三共製作所の製品は、工作機械や半導体装置、精密部品製造装置など、高精度・高生産性・高信頼性といった高度な性能・品質が求められる機械や生産ラインに組み込まれます。当社製品は精密機械部品やマイクロエレクトロニクス部品から構成されており、特に製品の心臓部であるローラギヤカム機構は粉塵やゴミ、ホコリなどを大変嫌います。これらが少しでも機器に侵入すると、精度や振動が影響を受けるだけでなく、短寿命化や誤作動の発生といった致命的な問題が生じかねません。したがって、クリーンな場で製造を行うことが非常に重要となります。一方、良い製品を創造するためには、社員の感性を刺激し心置きなく業務に没頭できる良好な環境が必要です。

高性能・高品質に対するお客様のご要望にお応えし信頼性の高い製品を安定的に供給するとともに、クリエイティブな製品開発の原動力となる製造環境を当社は独自に整備。品質マネジメントシステム(ISO 9001)や環境マネジメントシステム(ISO 14001)の認証を取得し、グローバルな販売活動を展開するための製品規格や品質維持、信頼性向上、自然環境保護に向けた活動を、製造現場と技術・研究の各部門が一体となって展開しています。

「DREAMS CAM TRUE-夢をカタチにする三共のカム技術-」をビジョンに掲げる当社が永年思い描いてきた「未来のニーズや技術を取捨するモノづくりの拠点」として、静岡第三工場を「Dream Factory」と命名。複合加工機8台で構成された無人化ラインは、年間加工部品287種、加工数34,000個の部品を年間52,000時間超の機械稼働計画を達成すべく、更なる生産性向上と高精度部品生産をサポートします。

製造環境における受賞歴 ●緑化優良工場 経済産業大臣賞受賞、経済産業局長賞、日本緑化センター会長賞
●静岡県都市景観賞(静岡工場) ●中部建築賞(第二工場) ●中小企業優秀新技術賞・新製品賞 ●研究開発者賞







サステナブルな企業へ

CSRへの取り組み

三共製作所は、「価値ある製品・サービスを通じて社会に貢献し、企業価値向上と社員の幸せを目指して明日を切り拓く」を経営理念としています。それは、利益を追求するばかりでなく企業活動が社会に対して与える影響について責任を持つということ。ステークホルダーである社員やその家族、お取引先、お客様、株主や地域、そして社会を構成する皆様からの声を真摯に受け止め、適切な意思決定を行い着実に行動する。この「責任を果たす」姿勢が社会からの信頼を獲得し、企業価値の向上につながると考えます。

また、皆様の暮らしをよりうるおい豊かなものにすることも、企業に求められる大切な活動です。当社は従来から力を入れてきた行動指針に基づく各種の環境活動のほか、文化・芸術活動など幅広い取り組みを展開し、社会の期待にお応えしていきます。

人と自然 (SDGs)

三共グループは自然と共生し、持続可能で豊かな社会の創造に貢献していきます。

事業においては研究開発やイノベーションを通じて高効率化技術のほか、リサイクルに配慮したアルミボトル缶やCO₂排出量削減につながるEV車のモータコア製造ラインの製品開発などを実現しています。

1981年に竣工した静岡工場を皮切りに工場緑化にも取り組み、緑化優良工場として経済産業大臣賞・経済産業局長賞・日本緑化センター会長賞も受賞しています。緑化の質も重視し、見た目の美しさばかりでなく、水や木、草花、昆虫、動物などが共存し、自然ならではの動きのある環境を取り戻す「三共自然再生プロジェクト」も展開。名古屋市立大学大学院でアーキテクト自然再生を専攻する大野暁彦准教授のご指導のもと、自然本来のサイクルが息づく「工園」を創造し、地域に還元するとともにより良いものづくりの拠点とすることを目指しています。

人と地球の未来のために。当社はこうした活動を通じてSDGs (Sustainable Development Goals、持続可能な開発目標)の達成に取り組んでいきます。

環境整備方針 ● 地域社会との共存「地域らしさ、地域貢献」 ● 緑地を最大限配置「効率的な土地利用」
● 自然環境への貢献「省エネ、省資源、生態系への配慮」

三共製作所はモノづくりと自然との共生を目指し、芸術や文化溢れる豊かな環境づくりに努めています。多目的に活用できるようデザインされたグループ新工場の森海ホール「フォレストエマーレ」は、自然に囲まれた環境で音楽を楽しんでいただくことができるようにもデザインされた複合施設です。

年に数回開催されるコンサートでは、音楽を味わうひとときをお楽しみいただけます。

工作機械の歴史と進化について理解を深められる機械資料館を併設しています。近代工業の発展史はまさに工作機械の発展史そのものであったといっても過言ではありません。欧米では敬意と感謝を込めて工作機械を「マザーマシーン母なる機械」と呼ばれております。このように貴重な工作機械であるにも拘わらず保存される工作機械は多くはありません。

近代工業史の重要な証言者であるアンティーク工作機械は、単にノスタルジーの対象ではなく、機械に込められた製作者たちの工夫と情熱、神の手が加わったとしか思えぬ精度の高さなど、現在の私達が学ぶ点は多いと考えます。

「高品質な製品は、よい環境から生み出される」という理念に基づき、工場全体の緑化にも注力し、訪れた方々の好評を博しています。緑に囲まれたやすらぎと働きやすい環境づくりのため、工場内の樹木や芝生整備、ハンキングやプランターの管理、石畳補修作業、農場での作物栽培等、四季を通して緑豊かで働きやすい環境づくりを担っています。



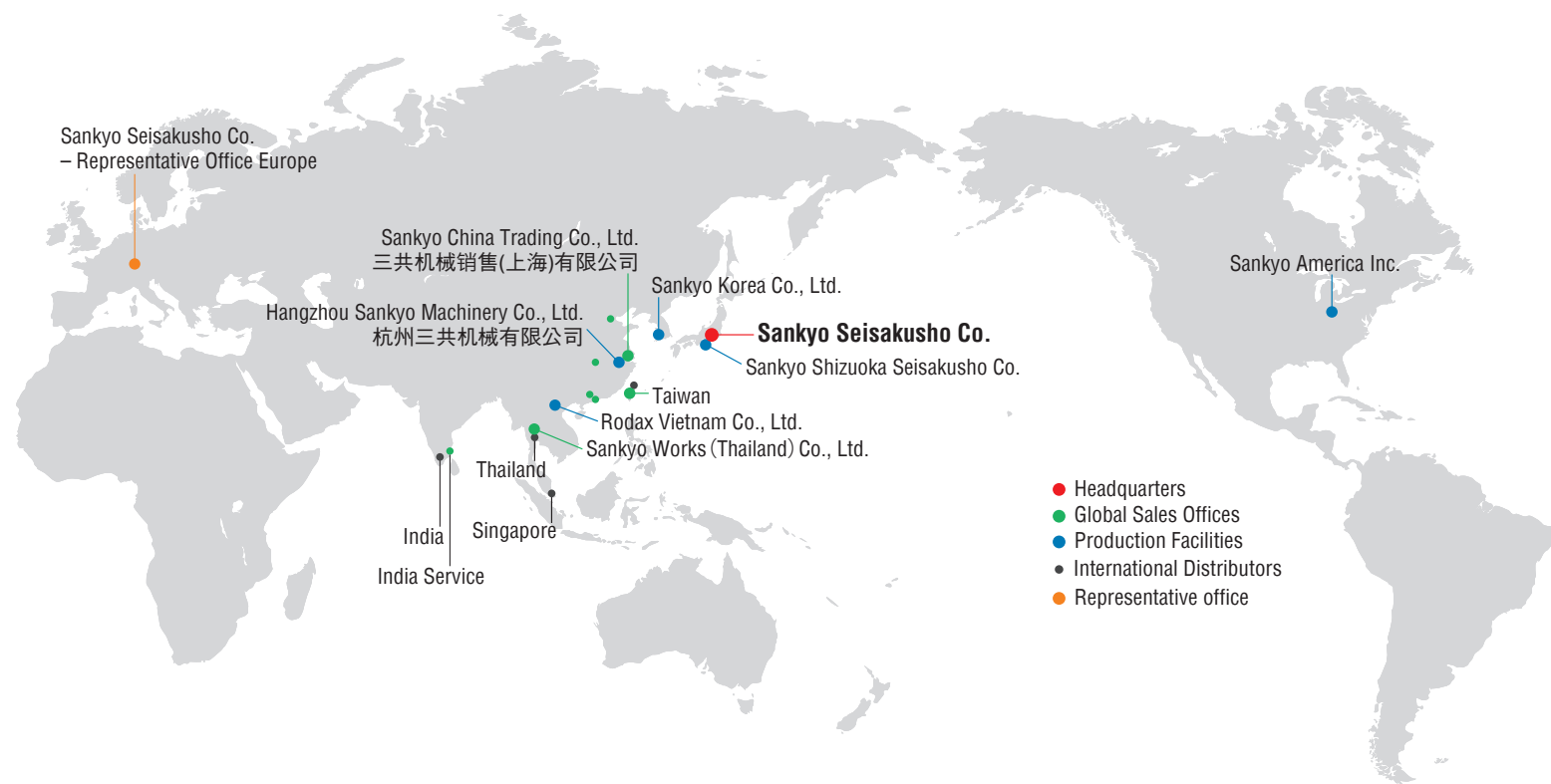
お客様のニーズに応えるグローバル体制

現在は、多くの企業がサプライチェーンを通じて海外とつながる時代。ボーダレス化も進み、日本企業が海外でビジネスを展開する流れも加速しています。

製品の供給やサービスのご提供についてもグローバル化への対応が不可欠である一方、日本をビジネスの本拠地とする三共製作所においては、研究や設計、開発、調達、生産、物流、販売、保守管理等のサービスといった機能部門の最適化が、お客様との価値共創を実現し企業としての成長を図るカギとなっています。

当社は日本の生産拠点を「マザー工場」と位置付け、生産システムや技術面でのモデルを構築しながら世界各地の拠点を統制。アメリカや中国、韓国、ベトナムの生産拠点で現地に根差し、その強みを活かした生産・販売と敏速なサービス提供を展開するとともに、各機能部門や拠点の効果的な連携により、コスト競争力や生産性の向上につなげています。

当社はこうした体制でお客様のご要望に着実に応えするとともに、拡大する海外市場の成長力を取り込み、グループのさらなる飛躍を目指しています。



株式会社 三共静岡製作所



三共アメリカ・インコーポレート



杭州三共机械有限公司



ロダックス ベトナム



株式会社 韓国三共



創業の精神 Entrepreneurial Spirit

仕事、学び、生活すべてを喜びと感謝で迎える

Welcome all job, learning, and life with great joy and appreciation

経営理念 Corporate Mission

価値ある製品、サービスを通じて社会に貢献し

企業価値向上と社員の幸せを目指して

明日を切り拓く

Contribute to society with inspiring products and great services. Create tomorrow by increasing corporate value and employees' happiness.

代表取締役
会長兼社長 小川 廣海
Chairman and CEO
OGAWA HIROUMI

会社概要

設 立 昭和26年5月(創業 昭和13年)

本 社 〒114-8538 東京都北区田端新町3-37-3
Phone: 03-3800-3305
Fax: 03-3800-3378
URL: <https://www.sankyo-seisakusho.co.jp/>

役 員 代表取締役 会長兼社長 小川 廣海
常務取締役 福嶋 正樹
取締役 佐々木 洋平
取締役 平塚 勝彦

資 本 金 5,089百万円
(グループ総額)

社 員 数 765名(国内389名、海外376名)

グループ会社

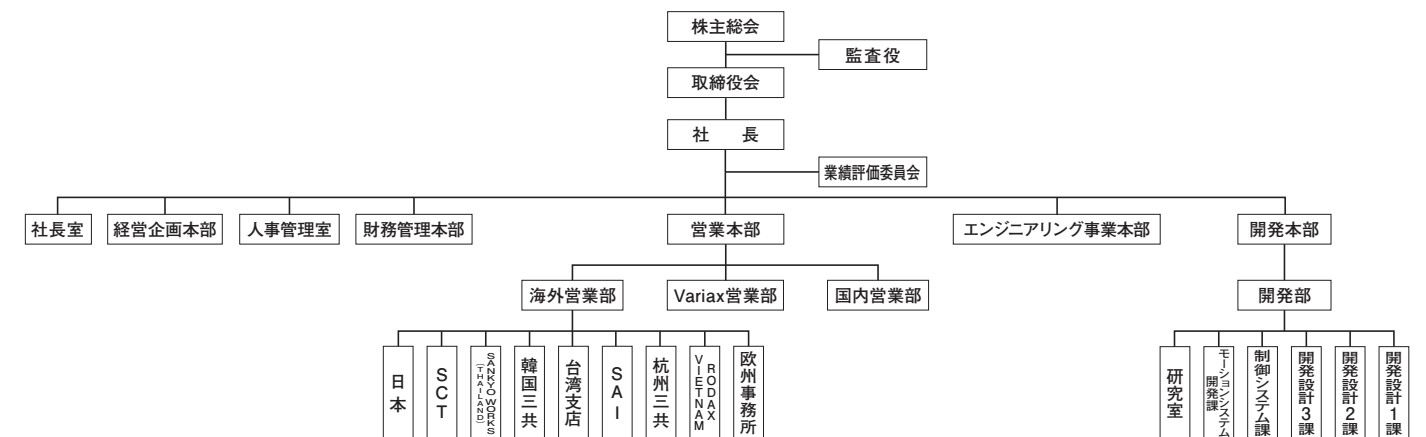
国内

株式会社 三共静岡製作所
株式会社 G&P
RODAX 株式会社
株式会社 三共ファシリティー
三共トレーディング株式会社

海外

三共アメリカ インク〈米国〉
韓国三共〈韓国〉
杭州三共机械有限公司〈中国〉
三共機械銷售(上海)有限公司〈中国〉
支店:深圳、天津、武漢
Rodax Vietnam Co., Ltd. 〈ベトナム〉
Sankyo Works(Thailand)Co., Ltd. 〈タイ〉
三共インターナショナル 〈香港〉
株式会社 三共製作所 台湾支店
Sankyo Seisakusho Co. - Representative Office Europe

組織図



沿革

1938年 小川良平が、東京都北区田端3-128に航空機械翼、キャタピラー部品の製造を目的に、前身の小川製作所を創業



1951年 社名を有限会社三共製作所に改称自動車部品、家庭用電気部品の製造を開始



1964年 法人組織変更で株式会社三共製作所を設立

1970年 ●シュリンクトンネル包装機械 (特許 第121463号・三共製作所として初めての特許出願)



●ローラギヤカム機構の開発研究に着手 (間欠割出装置特許を出願)



1973年 ●日本初のローラギヤカム式インデキシングドライブの開発に成功 (自社製造したカム加工機に関する特許を出願)



●出力がシャフトタイプのベースモデル、Dシリーズの販売開始

1974年 ●P&Pユニット/オシレートハンドラ、パーツハンドラをシリーズ化



1976年 ●周辺機器製品トルクリミッタ (過負荷安全装置)



1978年 三共オリジナルカム曲線 (SHP-5)を開発

1980年 サンデックスが大手高速実装機メーカーに採用

●アンブル異物検査機AIM製造開始 (開発した揺動同期装置に関する特許を出願)



●プレス用材料送り装置バリアックスM1開発 (特許 第1376660号)



1981年 静岡県菊川町 (現菊川市) に静岡工場を新設 (敷地面積：54,000m² 建物面積：6,276.2m²)



●パラレルカム方式・バラデックスPシリーズ



1982年 ●バリアックスV60A、V70M



●世界最小ピック&プレースユニットFS

1984年 ●超小型インデキシングドライブ2.8D



1985年 静岡工場増設 世界最大のカム専用工場 (建物面積：10,126m²)



1986年 ●バリアックスのVG・Vのシリーズ化



1987年 小川良平代表取締役会長就任 小川廣海社長就任



米国のオハイオ州にSankyo America Inc.を設立



1989年 静岡第二工場竣工 (建築面積：14,393.8m²)



第一工場との連絡橋 (仲良い橋) の完成



●NC旋盤刃物台



1990年 ●電子インデックス「カムトロン」



1991年 ●世界最大級インデックス「80DT」



1992年 静岡第二工場増設 (建築面積：1,983.4m²)



第24回中部建築賞受賞

1993年 第12回日本緑化センター会長賞受賞



1995年 ●湿性剤打錠機及び乾燥機



1996年 静岡第三工場竣工 (建築面積:6,591.4m²)



●トルク補償装置カムバランス



●世界最速3600spm 超高速バリアックスVG15H



1998年 ●駆動部一体型 サンデックスαシリーズ



2000年 ●超小型オシレート ハンドラFNシリーズ



●コンデンサ自動組立機、二次加工機



2001年 ●自動機用インライン型ベースマシン



2002年 ●ループコントローラ VSCシリーズ



杭州三共机械有限公司設立



2004年 カム曲線制御同期コントローラ

緑化優良工場等経済大臣賞受賞



2005年 ●ローラドライブRAシリーズ



●精密円振動パーツフィーダ 「サンデックスフィーダ」



●ハイブリッドサンデックス



2006年 三共機械銷售 (上海) 有限公司設立



ローラドライブRAシリーズがグッドデザイン賞受賞

2007年 ●CNC円テーブルRCシリーズ



●民生用ボタン電池組立機



2008年 ●サーボロール式送り装置バリアックスVSシリーズ



2010年 ●アライメント性能向上 ローラドライブRMシリーズ



●ガラス基板搬送ロボット



2011年 ●サーボドライブ・ローラドライブRYシリーズ



2012年 ●ライナーユニット (特許第4700944号)



●ローラドライブRWシリーズ



2013年 杭州三共机械有限公司 江東新工場完成 (敷地面積：26,667m² 建物面積：13,616m²)



韓国と台湾に販売・サービス拠点を設置 (韓国支店・台湾支店)

●高速バレットチェンジャーSPCシリーズ



●立形M/C用ツールチェンジャー TCUシリーズ



●医療業界向け注射器組立機



2014年 ●高剛性ローラドライブRUシリーズ



●横形M/C用ツールチェンジャー NSHシリーズ



●横形M/C用B軸ユニット RSDシリーズ



●大型部品加工用傾斜円テーブルRTD350



●第26回中小企業優秀新技術・新製品賞に「ライナーユニット」が優良賞を受賞

2015年 ベトナムに現地法人RVC (Rodax Vietnam Co., Ltd.) 設立



●大型傾斜円テーブルRTAシリーズ



株式会社 G&P棟竣工



2016年 ●CNC円テーブルRCDシリーズ



●製缶業界向けボトルフォーマー及び缶検査機



2017年 タイに現地法人Sankyo Works (Thailand) Co., Ltd.設立



●世界最小ローラドライブ MRシリーズ



●高性能サーボフィード バリアックスOPUS1シリーズとモータコア転積金型駆動装置 サーボデックスEVR1



2018年 韓国支店の現地法人化 Sankyo Korea Co., Ltd.



●溶接ボジショナSPシリーズ



●高速インデックスハンドラFHCシリーズ



2019年 ●汎用サーボフィード バリアックスOPUS2シリーズと汎用転積金型駆動装置サーボデックスEVR2



アンコイラVUC



タンデムループコントローラVLC



スクラップカッタSCR



●ローラドライブRGV・RGRシリーズ



2019年 ●溶接ボジショナSH500A



●両持2軸傾斜円テーブルRTBシリーズ



●ワイヤーカット用傾斜円テーブルRTH100



●製缶 ボディフォーミングマシン



2020年 ●両持2軸溶接ボジショナSP060DS



●10トン荷重ボジショナSP10TV



●自動通板機能付きモータコアスタンピングライン



●バリアックス「OPUSシリーズ」CE取得

●RGV/RGR/MRシリーズ防水仕様



●CNC円テーブルRCD高精度加工用



●第一回イノベーションフェア及びブライベートショー開催



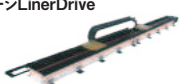
2021年 ●スクラップカッタSCR2シリーズ



2022年 RODAX VIETNAM 第二期工事竣工



●重量ワーク搬送パッケージLinerDrive



2023年 ●三共工作機械資料館 機械遺産認定

